

2021年11月14日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師  
「ペテロの救出」

**使徒 12:1~11**

- 1 そのころ、ヘロデ王は、教会の中のある人々を苦しめようとして、その手を伸ばし、
- 2 ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。
- 3 それがユダヤ人の気に入ったのを見て、次にはペテロをも捕えにかかった。それは、種なしパンの祝いの時期であった。
- 4 ヘロデはペテロを捕えて牢に入れ、四人一組の兵士四組に引き渡して監視させた。それは、過越の祭りの後に、民の前に引き出す考えであったからである。
- 5 こうしてペテロは牢に閉じ込められていた。教会は彼の為に神に熱心に祈り続けていた。
- 6 ところでヘロデが彼を引き出そうとしていた日の前夜、ペテロは二本の鎖につながれてふたりの兵士の間で寝ており、戸口には番兵たちが牢を監視していた。
- 7 すると突然、主の御使いが現われ光が牢を照らした。御使いはペテロのわき腹をたたいて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい。」と言った。すると、鎖が彼の手から落ちた。
- 8 そして御使いが、「帯を締めて、くつをはきなさい。」と言うので、彼はそのとおりにした。すると、「上着を着て、私について来なさい。」と言った。
- 9 そこで、外に出て、御使いについて行った。彼には御使いのしている事が現実の事だとはわからず、幻を見ているのだと思われた。
- 10 彼らが、第一、第二の衛所を通り、町に通じる鉄の門まで来ると門がひとりでも開いた。そこで、彼らは外に出て、ある通りを進んで行くと、御使いは、たちまち彼を離れた。
- 11 そのとき、ペテロは我に返って言った。「今、確かにわかった。主は御使いを遣わして、ヘロデの手から、また、ユダヤ人たちが待ち構えていたすべての災いから、私を救い出してくださったのだ。」

使徒 12:1, そのころ、ヘロデ王は、教会の中のある人々を苦しめようとして、その手を伸ばし、

使徒 12:2, ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。

使徒 12:3, それがユダヤ人の気に入ったのを見て、次にはペテロをも捕えにかかった。それは、種なしパンの祝いの時期であった。

ヘロデ王はヘロデ大王の孫です。ヘロデ・アグリッパ一世のことです。彼はローマ皇帝クラウデオによって、ユダヤを治める王に任命されていました。彼はモーセの律法を守る人物で、彼はユダヤ人から好意を持たれていました。

彼はヨハネの兄弟ヤコブを殺しました。ヤコブはペテロやヨハネと一緒に変貌山でイエス様と共にいた人物です。ヘロデがヤコブを殺したことがユダヤ人から気に入られたのは、ユダヤ人はクリスチャンを憎んでいたからです。

ヤコブが殺されたことはエルサレム教会にとって大問題でした。それは、ヤコブがペテロと共にエルサレム教会のリーダーだったからです。次にペテロが殺されるとエルサレム教会は空中分解してしまいます。

使徒 12:4, ヘロデはペテロを捕えて牢に入れ、四人一組の兵士四組に引き渡して監視させた。それは、過越の祭りの後に、民の前に引き出す考えであったからである。

4 人一組の兵士 4 組に引き渡し監視させた。これは合計 16 人に監視させたということです。

使徒 12:5, こうしてペテロは牢に閉じ込められていた。教会は彼のために、神に熱心に祈り続けていた。

教会は彼のために、熱心に祈っていた。

使徒 12:6, ところでヘロデが彼を引き出そうとしていた日の前夜、ペテロは二本の鎖につながれてふたりの兵士の間で寝ており、戸口には番兵たちが牢を監視していた。

ペテロは明日殺されるかもわからないのに 2 本の鎖に繋がれて二人の兵士の間でぐっすりと寝ていた。戸口には番兵たちが牢を監視していた。

使徒 12:7, すると突然、主の御使いが現われ、光が牢を照らした。御使いはペテロのわき腹をたたいて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい。」と言った。すると、鎖が彼の手から落ちた。

御使いはペテロの脇腹をたたいて彼を起こした。どうしてペテロはこんなに熟睡出来たのでしょうか。

(1) ヤコブが殺されたので自分も明日殺されるかも解らない。

(2) ペテロは二本の鎖でつながれていた。

(3) 二人の兵士がペテロの両側にいる。

このような状態の中でペテロは熟睡していたのです。私などは寝ているときに家内が隣の部屋でかたづけ物をごそごそやられたら寝ることが出来ません。ペテロは死ぬことも生きることすべてイエス様に任せていたので、熟睡することが出来たのだと思います。

使徒 12:7, すると突然、主の御使いが現われ、光が牢を照らした。御使いはペテロのわき腹をたたいて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい。」と言った。すると、鎖が彼の手から落ちた。

御使いはペテロの脇腹をたたいて、彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい」と言った、すると鎖が彼の手から落ちた。

使徒 12:8, そして御使いが、「帯を締めて、くつをはきなさい。」と言うので、彼はそのとおりにした。すると、「上着を着て、私について来なさい。」と言った。

御使いは「帯を締めて靴を履きなさい」「上着を着て私についてきなさい」と言った。まるでお母さんが小学校 1 年生の子供に言っているようです。

使徒 12:9, そこで、外に出て、御使いについて行った。彼には御使いのしている事が現実の事だとはわからず、幻を見ているのだと思われた。

ペテロは御使いのしていることが現実のことだとはわからず、幻を見ているようだった。

幻=実在していないのに実在しているように見えるもの。

使徒 12:10, 彼らが、第一、第二の衛所を通り、町に通じる鉄の門まで来ると、門がひとりでに開いた。そこで、彼らは外に出て、ある通りを進んで行くと、御使いは、たちまち彼を離れた。

第 1、第 2 の門の衛所に何人の門番がいたのか、町に通じる鉄の門が、どんなに頑丈なものか、門番が何人いたのか、何も書かれていませんので、何もわかりませんが、第 1、第 2 の衛所を通り鉄の門を通り抜けることは絶対に人間の力ではできないことはわかります。しかし教会ではペテロのために神に熱心に祈りを続けていたのです。

葛西教会でも役員と希望兄とで毎週水曜日の午後 8 時から祈っています。使徒 12 章のようにペテロが殺されるような絶体絶命の祈りではありません。滝山教会には韓国人がいて、日本人の救いのために涙を流して、祈っている人がいます。

私のアメリカの友達私の姉の救いのために祈ってくれています。私がいくら姉にトラクトを送っても、家内に「もうトラクトを送らないで」と、電話してきます。しかし兄貴が 10 月 29 日に痴ほう症になったという電話が来ました。その時「英雄、姉ちゃんは御先祖を守らなければならないのでキリストを信じる事が出来ない」と初めて言ってくれました。嬉しかったです。

私は、祖先崇拜は大切なことです。NHK でもそのように教えています。然し「祖先を造られた神様を信じる事はもっと大切なことではないですか」と手紙に書きました。これはアメリカの友達が祈ってくれたからです。

一人で祈ることも大切ですが、役員と希望兄と一緒に祈ると恵まれます。しかしエルサレム教会の教会員のようにペテロがヘロデに捕まって殺されるという絶体絶命の時に祈ることも大切です。

ルカ 1:37, 神にとって不可能なことは一つもありません。」

マタイ 19:26, イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」

人には出来ないから祈るのです。神様は不可能を可能に変えてくださいます。

使徒 12:11, そのとき、ペテロは我に返って言った。「今、確かにわかった。主は御使いを遣わして、ヘロデの手から、また、ユダヤ人たちが待ち構えていたすべての災いから、私を救い出してくださったのだ。」

使徒 12:12, こうとわかったので、ペテロは、マルコと呼ばれているヨハネの母マリヤの家へ行った。そこには大ぜいの人が集まって、祈っていた。

使徒 12:13, 彼が入口の戸をたたくと、ロダという女中が応対に出て来た。

使徒 12:14, ところが、ペテロの声だとわかると、喜びのあまり門を開けもしないで、奥へ駆け込み、ペテロが門の外に立っていることをみなに知らせた。

使徒 12:15, 彼らは、「あなたは気が狂っているのだ。」と言ったが、彼女は本当だと言い張った。そこで彼らは、「それは彼の御使いだ。」と言っていた。

あなたは気がくるっているのだ。

使徒 12:16, しかし、ペテロはたたき続けていた。彼らが門を開けると、そこにペテロがいたので、非常に驚いた。

彼らの驚きについては詳しく書かれていません。

使徒 12:9, そこで、外に出て、御使いについて行った。彼には御使いのしている事が現実の事だとはわからず、幻を見ているのだと思われた。

ペテロ自身も御使いのしたことを現実の事とはわからず、幻を見ていると思ったのです。私は今までここを読んでエルサレム教会の信徒たちはペテロがヘロデの手から解放されると信じて祈っていたのではなかったと、エルサレム教会の信徒を非難していましたが、今教えられることは、「あなたは気がくるっている」と言われるようなことを祈ってもよいと言う事を教えられました。

確かにペテロがヘロデの手から解放されることは絶対にありえないことなのです。(4人1組の兵士4組、計16人に監視されているのです、その上第1、第2の衛所があり、鉄の門があるので) 人間的に考えて絶対無理なことを祈れば良いのです。

I コリント 3:16 あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

マタイ 7:7, 求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。

神様は条件を付けていません、私たちの方でこの祈りは無理だと条件を付けています。気が狂っていると言われるようなことも祈ってよいのです。

ルカ 1:37, 神にとって不可能なことは一つもありません。」

マタイ 19:26, イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」

人間的には絶対無理だから祈るのです。神様は不可能を可能に変えてくださる神様です。

【説教:大木英雄牧師】